祭活字子文

成島柳北

青空文庫

第四回改称節ノ賀筵上ニ於テ、社長柳北恭シク社主ヨリ賜ハル酒ノ※余ヲ奠シテ、汝活字子ノ霊ニ告グ。嗚呼吾ト汝ハ如何ナル宿因有テカ、一度莫逆ノ交ヲ訂セシヨリ旦暮相離レズ。汝ハ吾ガ為メニ勤労シ吾レハ汝ニ頼テ衣食スルコト、茲ニ満三年ニシテ、本社改称節ノ賀儀ヲ挙グルモ既ニ四回ニ及ブ。吾ガ汝ヲ眷愛スルノ念、豈ニ我ガ子弟ニ異ナランヤ。汝ハ形躯有ルモ智覚無キガ如シ。人皆汝ヲ目シテ死物ト為ス。然レドモ吾レ毎ニ一議論ヲ発シ一文章ヲ綴レバ、汝忽チ起ツテ躍々活動シ、以テ吾ガ欲スル所ロニ従フ。猶ホ黄道士ガ一叱スレバ頑石活シテ群羊ト為(ナ)ルガ如シ。吾レ又案ヲ拍チ筆ヲ按シテ姦人狡児ヲ懲罰セント一大呼スレバ、汝秩然トシテ其ノ行伍ヲ整列ス。猶ホ大隊長官ノ一鞭ヲ揚グレバ衆卒皆令ニ応ジテ行陣ヲ編スルガ如シ。汝豈ニ冥頑ナル死物ナランヤ。汝ハ真ニ活字子ナル哉。嗚呼吾ガ生計ノ忙ハシクシテ汝ガ吾レニ力ヲ致スノ厚キ、其ノ面ハ深墨ニシテ其ノ骨ハ稜々タリ。汝ノ肉ハ日ニ瘠セテ以テ独リ吾レヲ肥サントス。吾レ且ツ汝ニ謝スルノ暇有ラザラントスルナリ。然リト雖ドモ吾徒ノ奇禍ヲ買ヒ苦境ニ堕ルモ、亦汝ニコレ因ラズンバアラズ。独リ柳北ヲシテ再度楚囚ノ惨味ヲ喫セシメシ而已ナラズ。我ガ末廣澤田二子ヲシテ久シク囹圄ノ中ニ貴重ノ光陰ヲ消過セシメタルモ、亦汝ノ罪ニ非ズト謂フヲ得ズ。而シテ吾ガ高橋子ヲシテ数月ノ間櫛風沐雨ノ苦ヲ兵馬ノ地ニ嘗メシメタルモ、亦汝ノ事ニ関セシニ非ズヤ。嗚呼汝ノ吾徒ニ幸スル所以ノモノハ、即チ吾徒ニ禍スル者ト謂フモ亦タ不可ナル莫ランカ。然レドモ今ヤ柳北ト二子ハ皆青天白日ノ人トナルヲ得テ、高橋子モ亦筆墨ノ勲ヲ奏シテ快ク本社ニ凱旋シ、以テ本日ノ賀筵ニ盍簪相娯ムヲ得レバ、吾徒復タ何ゾ汝ヲ怨ミ汝ヲ責ムルヲ為サンヤ。単(タ)ダ宜シク汝ガ多年ノ厚誼ヲ謝シ、汝ガ平生ノ労苦ヲ慰ム可キノミ。柳北不才叨リニ社長ノ重任ヲ担ヒ、諸子ト共ニ本日ノ盛宴ニ臨ム。深ク我ガ社運ノ隆昌ヲ喜ビ、将ニ尽ク社員ノ前過ヲ棄テヽ新タニ其ノ勲功ヲ録セントス。故ニ先ヅ※余ヲ汝ニ頒ツテ以テ平生ノ労ニ酬ユ。汝霊有テ吾ガ言ヲ聴クト聴カザルトハ吾ガ敢テ問フ所ロニ非ズ。尚饗

青空文庫情報

底本：「朝野新聞縮刷版6」ぺりかん社
　　1982年（昭和57）年1月20日発行
初出：「朝野新聞」朝野新聞社
　　1877年（明治10）年9月26日
※表題は底本では、「祭［#二］活字子［#一］文」となっています。
※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の表記をあらためました。
※ただし、仮名遣いは底本どおりとしました。
※底本には句読点がないので、「柳北全集」（「文藝倶楽部」第三巻第九編臨時増刊、博文館、1897（明治30）年7月発行）を参考にしつつ、入力者の判断により適宜句読点を補いました。
※合字「トモ」（「然レドモ」「雖ドモ」の箇所）は「トモ」または「ドモ」に、合字「コト」（「衣食スルコト」の箇所）は「コト」に置き換えました。
※底本では、ルビはすべて左に付いています。これらのルビを《》に入れました。
※入力者の判断により、濁点を補った箇所（「因ラズンバアラズ」）があります。
※外字注記のページ数は、底本に記載がないため、初出紙の「年.月.日.面」で代用しました（「M.10.9.26.5.4.3」は、「朝野新聞」明治10年9月26日第5面第4段3行目の意）。
※変体仮名は、すべて通行の仮名に置き換えました。
※この作品は、前述「柳北全集」に収録されていることから、成島柳北の作品として扱いました。底本では、「柳北」と署名されています。

入力：藤野風子
校正：合山林太郎
2011年5月5日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

祭活字子文

成島柳北

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/